三重県防災会議専門部会「防災・減災対策検討会議」（平成２８年度第１回）
議事概要

日　時：平成 28 年 12 月 12 日（月）10：00～12：00
場　所：ホテルグリーンパーク津「葵・橘」

１　出席者（50 音順）

○　河田委員長、川口委員、葛葉委員、新谷委員、高瀬委員、中森委員、日当委員、松田委員、渡邊委員、福井委員、以上 10 名

２　運営要領の改正及び委員長の選任について

○　運営要領の改正を事務局から提案し、了承された。
○　委員長に、全会一致で河田委員長を選任した。

３　議題

（１）「三重県防災・減災対策行動計画（仮称）」策定方針について

会議資料に掲載の策定方針に則って策定していけばよいという意見が複数あった。また、次のような個別意見があった。

○　わかりやすい言葉づかいで策定していただきたい。
○　障がい者のケアプランの中に避難計画を記載するよう働きかけていただきたい。
○　市町で防災計画、マニュアルを策定するため、策定過程から公表いただけると助かる。

（２）「三重県防災・減災対策行動計画（仮称）」の策定においてふまえるべき地震・津波対策への課題と対策について

意見の概要は、以下であった。

① 現行計画の検証による課題と対策

○　企業ＢＣＰについては、熊本地震では機能しなかった。工場が損壊するのではなく、ロボットが動かなくなりラインが止まった。地震が起こるたびに新たな対応が必要になり、ＢＣＰは、それに合わせ更新していかなければならない。
○　市町が取組を進めるうえで難しいのが災害時要援護者対策（支援計画の策定）である。各市町により事情が異なるので一律にいかない。市町と連携して進めるには市町がなぜうまくいかないかを分析する必要がある。
○　耐震補強を進めるには、費用を抑えられる部分耐震等も有効。また、個人備蓄を進めるには、ローリングストックの啓発を。
○　災害医療についても課題があり、引き続き対応していかなければなら

ない。

○　ボランティアの活用については、日頃からのつながりが非常に重要と考える。また、災害の規模に応じ、広域のボランティアセンターについても考えていかなければならない。

②　「熊本地震の課題と対策」及び「平成２８年度防災に関する県民意識調査結果（速報）」について

○　熊本地震の課題と対策については、国の「熊本地震を踏まえた応急対策・生活支援策検討WG」の報告が出るので、それを精査していただき、次の計画に反映していただきたい。

　また、例えば「車中泊」等が問題になったが、車中泊の対策だけでなく、車中泊を防ぐ対策を検討する等、問題が起きないような対策を検討していただきたい。

　さらに、計画は県だけで作ってしまうのでなく、市町も関わる等顔の見える関係で整理していただきたい。

○　熊本地震の課題は、県ですることと、市町ですることをリンクさせることが重要。防災人材のスペシャリストの育成や経験者のリストアップが大切。